

「防災部会」 H28年度「防災関係の取り組み」について。

記

◎「各種の行事」について。

○「地域防災学習交流会」の件。

(参考:奈良橋公会堂にて、平成26年11月12日(水)19:00~20:30)

1. 日時: 上期外れ...未定(今後の検討事項)

2. 場所: 奈良橋公会堂

3. 主催: 都総務局総合防災部防災管理課

4. 講義内容等: 「首都直下地震の備えと地域防災力の向上」

5. 講師: 梶 秀樹(筑波大学名誉教授)

6. その他

H28年度
折衝経緯

・上記関連: 防災部会として、大変意義ある交流会と考え、H28年度に於いても、計画を検討。

・H28.5. 都総務局総合防災部防災管理課へ照会も...H28年度に於いても、年2回の開催とのこと。

・上半期(第1回は、6/27~10/31)

* 上期申し込みも、残念、抽選外れました。

・下半期(11/14~29.3/15)、同様3回実施。

(別紙資料)



○「東大和市総合防災訓練」への参加。

1. 実施日時: 平成28年9月4日(日) 午前9時~正午

2. 実施場所: 東大和市立第一中学校(中庭&体育館内)

・当日は、雨天の為「体育館内」で、実施。
・従って、「初期消火・煙体験&演習」等は、中止。

3. 集合場所: 公会堂、午前8時30分

・避難訓練として、第一中学校まで、徒歩で移動。

4. 訓練内容: 主に実施する訓練は、以下のとおり。

1) 市民参加型訓練(午前9時~11時)

・避難所体験訓練・初期消火訓練・煙体験訓練・救出、救助訓練
・応急救護訓練・災害時伝言ダイヤル訓練・炊き出し訓練等。

2) 総合演習(午前11時~11時30分)

・市及び関係機関が実施する演習を見学。

3) 各種体験・展示(午前9時~11時30分)

・はしご車搭乗体験・ミニ防火衣着用体験

・自衛隊、警察、消防等による車両展示・備蓄食料の試食他

5. その他

・多数の方が参加者されました。尚、当自治会は、19名。

・当日配布の「東大和市総合防災訓練」資料。

6) 各訓練等写真

◎主に実施する訓練...「市民参加型訓練」。



(訓練会場 & 開催挨拶と協力機関の方々)



(防災訓練:パンフ)

(一斉放水:雨天で、中止)



(公会堂集合、避難所へ)



(避難所体験訓練&体験紙芝居)



(応急救護訓練:AED操作)



(救出・救助訓練)

(多数の参加者)

◎災害対策の基本は・・・各自身が常に「防災意識を持つ」ことが大切。

- ・「自らの生命は自らが守る」
- ・「自分たちの町は自分たちで守る」
- ・「自助」・「共助(相互)」・「公助」の精神といわれています。

「予定どおり実施いたしました。！！」

○「第一中学校地域合同防災訓練」の件。

1. 日 時 : H28年11月27日(日) 午前8:30分～午後0時30分
2. 場 所 : 第一中学校庭・体育館
3. 訓練内容 : 応急救護・避難所設営・備蓄コンテナ内見学等(詳細は、「地域合同防災訓練のご案内」によります。)
4. 参加機関 : 市・第一中学校・北多摩西部消防署・消防団第四分団・地域自治会等。
5. 各種の訓練(体験)状況。 6.参加人数: 名。

H28年度 早期に、「市・第一中学校・北多摩西部消防署・消防団第四分団・地域自治会等」へ確認とします。
折衝経緯 H28.9/ 確認に於いて、上記、日時・場所等決定も
「自主防災訓練」とバッティング・・・苦渋の決断で、不参加といたします。

○「奈良橋自治会:自主防災訓練」の件。

1. 日 時 : H28年11月27日(日) 午前9:30分～午前12時00分
2. 場 所 : 奈良橋市民センター3階ホール・庭
3. 訓練内容 : 初期消火・応急救護・スタンプ・講習会等(詳細は、「お知らせ」によります。)
4. 参加機関 : 北多摩西部消防署・消防団第四分団。
5. 各種の訓練(体験)状況。
6. その他 : 参加者数 名(内、地域内連係(警備・誘導)で、奈良橋防犯協会 名参加)

◎災害対策の基本は・・・各自身が常に「防災意識を持つ」ことが大切。

- ・「自らの生命は自らが守る」
- ・「自分たちの町は自分たちで守る」
- ・「自助」・「共助(相互)」・「公助」の精神といわれています。

H28年度 H28.8/会場(市民センター)へ、申し込み手続きの件。
折衝経緯 H28.9/ .岸会長・中村防災部長・・・市防災課&北多摩消防署等
会場(奈良橋市民センター)へ、実施手続きの件で訪問。
上記の日程で、実施とする。

○「救命技能認定講習会」の件。

1. 日時：H29年2月5日(日)。 午前9:00分～午前12時00分
2. 場所：奈良橋公会堂。
3. 訓練内容：「応急救護(AED)の操作訓練等」。
4. 協力：北多摩西部消防署・消防団第四分団。 * 事故等による犠牲者を最小限に抑えるためには予防することが大切です。万一発生した場合に救急車が到着するまでの救急処置が重要です。
5. その他：詳細は、先の回覧「お知らせ」によります。この「救命法」を身につけていただき、イザという時に役立てて頂ければと存じます。
 ・参加者：名内 名受講。
 ・認定料20名×1,400円＝計上予算30,000円)
 ・協力先等の都合確認により、上記日程で、実施とする。
 尚、会員への案内は、H29.1月予定。

H28年度
折衝経緯

○主催・協力「東大和市防災課・西部消防署」等。

- ・「防災フェスタ2014」。(自主参加！) (参考:南公園に於いて、H26.3.9 9:30～12:30 (4名参加)
- ・「防災フェスタ2015」。(自主参加！) (参考:南公園に於いて、H27.3.8 9:30～12:30・「歩こう会」とバッテング！
- ・「防災フェスタ2016」。(自主参加！) (参考:南公園に於いて、H28.3.6 9:30～12:30・「歩こう会」とバッテング！
- ・「防災フェスタ2017」。(自主参加！) !

H28年度
折衝経緯

今後、確認。

○その他

* 各関係機関(防災)主催の講習会等への参加。

(1)H28年6月18日(土)PM6:00～公会堂に於いて、「避難行動要支援者支援の進め方」の講習会。

- ・講義内容:支援体制づくり(なぜ、地域の支援が必要なのか
災害時の支援は、日頃からの関係づくりが重要。他
- ・講師:市福祉推進課係長 池田 剛氏
- ・参加者:役員等15名(勉強会をかねて。)



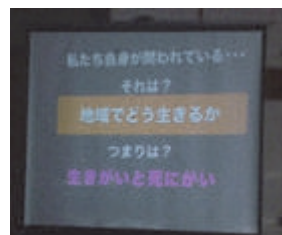
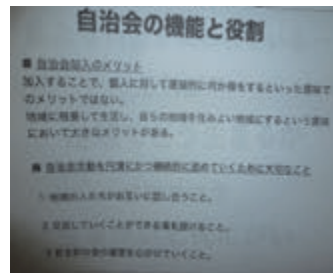
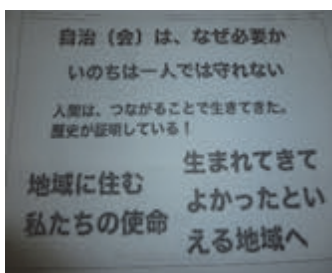
* 参加者、役員！



(1)H28年7月3日(日)PM14:00～& 9月17日(土)東京都庁5F会議室に於いて、「東京防災:学習セミナー」開催の周知
 ・上記、情報伝達として、会員へ「お知らせ」を回覧。但し自由参加。 * 何れも参加者は、不明

(1)H28年9月11日(日)PM7:00～公会堂に於いて、「地域活動支援アドバイザーの派遣について」の講習会。

- ・テーマ:「高齢者の見守り活動」に関する専門的な知識や効果的な取り組みについて。
- ・アドバイザー:富岡町生活復興支援センター長 天野 和彦氏
- ・経験・体験を基に、多岐に渡り講義される。「自治会は、なぜ必要か・・・いのちは一人では、守れない」
大変意義のある、講演会でした。
- * 参加者は、25名(市民生活課2名含む)。



「予定どおり実施いたしました。！！」

・(参考)H28年1月27(水):9:20~16:00分。「H27年・防災市民組織リーダー研修会(多摩地区)」へ参加。
 講演内容は、主に、「家具類の転倒・落下・移動防止対策」&「実技体験:災害図上訓練(DIG)」等。
 会場:三鷹市市民協働センター 参加者:中村部長・丸茂 (11/19.報告・配布資料)

* 防災に関する、様々な情報収集活動&周知(回覧)。・消防署等よりの情報:都度「回覧」を実施しております。

* 「防災資器材・備蓄品の購入」を検討。(予算に注意! ¥100,000円)

- ・防災グッズ・・・!(会員へ配布・行事参加者へ)
- ・防災グッズ一式(カタログ)の手配!



(第一中学校配備)(H27.11/22.実施)

* 当自治会に於ける!

- ・資機材は、ヘルメット・懐中電灯(LEDライト)・ラジオ(時計付)・ハンドマイク・救助工具等

・上記は:東大和市より、「防災資機材等」借用あります。(別添、貸与通知書)

ご参考:東大和市防災「備蓄コンテナ設置場所」

- ・市立小学校(3小、他計7箇所)
- ・市立中学校(1~5中、計5箇所)
- ・狭山公民館・市民体育館・湖畔集会所・清水公園(計4箇所)

・資機材の(配備)経緯。

- H27.12月・・・リヤカー1台購入。
- H28.1月・・・ヘルメット10個購入。
- H28.1月・・・「AEDのリース契約」。



(公会堂に配備)



(自治会:配備、消防署より借用!)

・28年度も要検討!

(自治会:配備)各種の電池
消火器1本

・備蓄品は、ありません。

◎早期に対応(行動)とする、案件。

その1:高齢者(一人暮らし)の会員名簿作成。

- ・万一の災害が発生した時に共助(見守り・声掛け)の必要性。
- ・プライバシーの侵害(保護)に注意。

奈良橋自治会(区) 高齢者(一人暮らし)名簿 H28年10月1日現在 (敬称略)

氏名	性別	年齢	住所	電話番号	備考(現況)

(注)

- ・安否確認対策。
 名簿は、プライバシー保護を考慮:区長扱いとする。但し共有の必要で、各組長さんへは、周知。

その2:防災マップの作成。(地域の特性を知る:危険箇所等現場確認)

- ・行政の指導等を得る!
- ・現場確認。
- ・準備:白地図・OPPフィルム・油性ペン等
- ・地図として、・・・既存の住宅地図の活用は!

~安心・安全なまちづくり・心がかようまちづくり~!!